

表紙のことは

原口翔子「海の中の人魚姫」

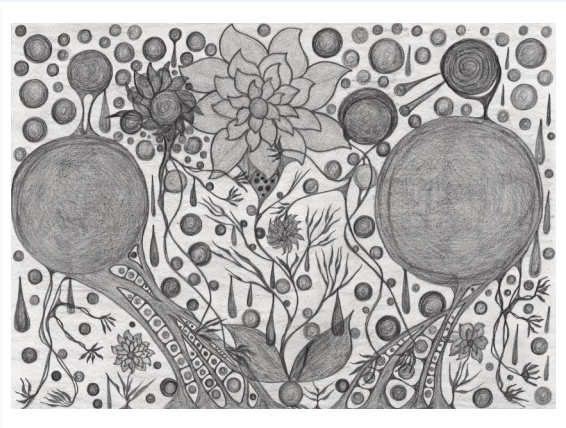
私は自閉スペクトラム症です。今年で29になりますが、つい最近までそのことを知らずに生きてきました。わからないままの生活は、生きる目標もなく体調不良と戦う毎日でしたが、作業療法を始め、作業をしながらさまざまなお話をすることで、人とかわる喜びや何かをつくり完成させることの達成感が、生きる目的の一つとなっております。また、作品を完成させるにおいて、さまざまな挑戦がありました。挑戦することによって、より生きている実感が湧きました。

作品において重要と考えているのは、見る人によって感想が変わるということです。もしその変化によってたくさんの人の心が癒すことができたならいいと考えつくりました。楽しさを求めたなら楽しげに、悲しみを求めたならそれに寄り添うようにできたら。そんな作品になってくれたらいいと思います。



今月の作品

本コーナーでは、表紙にご応募いただいた作品の中から毎月1点をご紹介します。



藤田信行「花、生まれる」

作品とは：そのとき、そのときを考えすぎない。

作っているときの気持ち：考えることの無駄な気持ち、エネルギー、全部の気持ちのこいほう。

作品を見たひとに伝えたいことは：ひとそれぞれで自由。それは、アートの押し付けではない。無になって、本能的にしんどいことから距離を置き、手を動かすことで、極々、シンプルに生まれ生きる。(藤田信行)

OT室にあった炭をボンドでつけてアートが始まった、まさにアール・ブリュットです。個展やコンテストに入賞、独創的な世界観は見るひとを惹きつけます。(担当OT：那須かり)